



かがやき



学校教育目標： 確かな学力と豊かな人間性をもち、自ら伸びる子どもの育成
— 自ら学ぶ 認め合う 元気 —

《No. 7》 令和7年10月1日



「〇〇の秋」を楽しもう！



読書の秋（おくびの風一座 読み語り・わくニコお話し会）

9月10日は、2学期最初の「おくびの風一座」の皆さんの読み語りでした。今回は、秋のお野菜や月など、季節感のある内容も多く、子どもたちの情操を豊かにする絵本でした。7月に全校で奥田元宗・小由女美術館へ見学に行った「パンどろぼう」の本を読み聞かせてもらった学年もありました。先日、1年生の本の貸し出しが500冊を超えたようです。今後も、92名の子どもたちが1冊でも多くの本にふれるきっかけを工夫してつくっていきます。



9月17日には、本校の読書活動でも恒例となってきた「わくニコお話し会」を開きました。「世界で一番速いのは?」「じごくのそうべい」等の4冊の本が、1週間前から職員室前に並べられ、子どもたちは聞いてみたい本を選び、その本の教室へ出向いていきます。各会場となる教室では先生が待っていて、その本を読み語りしていきます。回を重ねるごとに「自分で本を選ぶ力」も身に付いてきたのか、開始時刻には、みんな会場に入りすぐにお話し会がスタートしていました。

スポーツの秋（第18回三次市内小学生陸上記録会）



9月13日に行われた第18回三次市内小学生陸上記録会が行われました。本校からも、走り幅跳び、ジャベリックスロー、100m走、800m走、4×100mリレーの種目に3～6年生の13名が参加をしました。初めて参加する人、新しい種目に参加する人、続けて同じ種目で参加する人、それぞれが自分の目標を明確にもって、その目標達成に向けて力いっぱいチャレンジできたと思います。

写真は、記録会に向け、体育館で練習をしている様子です。

芸術の秋（夏休み校内作品展）

9月8日～19日までの期間、本校図工室において「夏休み作品展」を開催しました。1人1作品を目標として、長い夏休み中に制作した絵画や工作などを展示しています。最近、書店などでもいろいろなキットを販売していますが、家にある材料や身近な物を使い、工夫して作ったものが多くありました。絵画もしっかりと時間をかけ、豊かに表現された作品がずらりと並びました。校外の作品展やコンクールへ応募した作品もあります。後日の審査結果がとても楽しみです。



防災体験活動（５年生）



９月４日は、５年生が防災体験の活動を校内で行いました。

講師は、神杉地区の４名の防災士さんと三次市危機管理課の職員さんです。

前半は、iPad を使いハザードマップを見ながら、自分の地域や自宅場所がどのような状況なのかを知りました。初めて、浸水地域や土砂災害地域であることを知る児童もいました。

後半は、体育館に場所を移し、３つのグループに分かれ「土砂災害の VR 体験と段ボールベッドづくり」「ダミーを使った心肺蘇生法」「いざという時のロープワーク」を体験的に学習しました。万が一の災害時に備え、真剣に取り組むことができ、災害時には今回の学習を生かしていきましょう。



じまんを探す「町たんけん」（２年生）



２年生は、１学期から生活科の時間に町たんけんを行い、自分たちが住んでいる神杉地域のじまをいろいろ探しています。９月のたんけんは、神杉でアスパラガスを専門に生産されている農家さん、養蜂を行いはちみつを販売されているはちみつ園、ジャージー牛を放牧で飼ってられる牧場、ワイン用のブドウを作っておられる農家さんへ行き、貴重な体験もさせていただきながら、お仕事の大変さやこだわりを聞かせていただきました。自分がやられている仕事に誇りをもっ

て、神杉の地で頑張っておられることが子どもたちにもしっかりと伝わりました。お仕事でお忙しい中、学習にご協力をいただいた皆様、本当にありがとうございました。



神杉地区合同運動会開催のご案内



日時 令和7年 10月12日(日)

※雨天の場合は、15日（水）に延期

となり、延期の場合は、地域の種目は行いません。



午前9時～12時まで

児童会テーマ



完全燃焼！チームワークで限界突破～神杉大集合～

今年度は、「もっと地域の人たちと関わって、交流のある運動会にしたい！」という子どもたちからの声を受け、地域競技に児童も参加する合同運動会になります。

ご多用とは存じますが、ご家族・ご近所の皆様をお誘い合わせの上、ぜひご参会いただき、神杉合同運動会を児童と一緒に盛り上げてください。どうぞ、よろしくお願いいたします！

地域・家庭・学校で共に未来を創る ～学校運営協議会（コミュニティ・スクール）これからの可能性～

令和7年度第2回目の「塩町中学校区学校運営協議会」が8月26日(火)塩町中学校で開かれました。本校の学校運営協議会委員である有田 新治様、松田 敏昭様、藤川 和也様にも出席していただき、三次市教育委員会 豊田 庄吾教育部次長をお招きして「地域と学校とのつながりを～コミュニティ・スクールのこれからの可能性～」と題して講話をいただきました。

その中で、コミュニティ・スクールに関する疑問や知りたいことを次のように出し合い、取り組むべき視点や方向性について改めて整理しました。



① 学校・地域・子どもの視点に関する疑問

- 学校や子どもはCS（コミュニティ・スクール）についてどう思っているのか。
- 自分の地域以外の学校や地域をどう捉えているのか。
- 中学校は、他地域から生徒が集まるため、地域とのつながりづくりが難しいのではないかな。

⇒いろいろな地域から来ていることを強みにし、越境体験等も通して、塩町中学校区の良さの再発見や当事者意識をもった多様な人々と関りながら、人間磨きをしていく。

② CSの目的・意義・方向性への疑問

- 5つの学校と4つの地域が連携して進めるCSの「目指すところ」は何か。
- 小学校では地域との関わりが進んでいるが、中学校区単位の取組をどう進めるのか。
- 学校別よりも全体で取り組むほうが効果があることは何か。
- 改めて「コミュニティ・スクールに取り組む意義」がどれほどあるのか。

⇒つきたい力（主体性、表現力、協働性）を常に念頭に置きながら、学校でのカリキュラム連携をもつ機会を増やし、互いの思いをすり合わせながら、試行修正をしていく。より広い地域で学ぶことで、職場体験学習等も深まっていく。

③ 学校と地域の関係性に関する課題感

- カリキュラム上は、地域に関する内容が増えているのに、関係が薄れているように感じるのはなぜか。
- 学校が地域に求めたいことは何か（環境整備、ベルマーク、総合学習の補助など）。
- 学校と地域のつながりを深めるには何をすればよいのか。

⇒〈PTA 活動〉＋〈地域活動〉、〈参加〉⇒〈参画〉等の視点を大切にしながら、新しい価値を地域課題にも触れながら、当事者意識をもって取り組んでいく。

④ 運営・実践面での具体的な疑問

- 「事件は現場で起こっている」ので、話し合いだけでなく実働したい（例：さつまいも植えのような活動）。
- CSの基本方針に沿わない活動アイデアが出た場合、正しいかどうかを誰に相談するのか。
- 活動に必要な予算はあるのか。ある程度の予算が不可欠ではないか。
- 昨年準備しているが、本格的に動き出していないように感じる。

⇒まずは、できるところからということで、中学校では4つの自治連合会から講師を招へいし、1学年のグットタウン三次「地域を知ろう！三次（塩町）の良さの再発見！！」に学習のプロセスから関わりをもっていただき取り組んでいる。

⑤ 中学校区・地域連携に関する具体的懸念

- ・ 中学校と地域のつながりをどう良い方向にもっていかれるか。
- ・ 中学校と地域のつながりが弱い中で、何をすればよいのか思いつかない。
- ・ （塩町中学校区など）学区単位で何かできると良いのではないかな。

⇒小中一貫教育目標、学校教育目標や付けたい力を意識した体験活動を仕組んでいく。本年度中学校の体験学習では、つけたい力（主体性、表現力、協働性）を意識させながら取り組み、振り返りを行っている。塩町中学校区では、今各学校で取り組んでいる挨拶運動等を、実施時期等を連携して実施していきたい。

全体整理

次のような問いを整理することができました。上記に記載したように、それぞれの問いに対して、具体的な手立てや事柄がすべて明確になったわけではありませんが、このような本質的な問いに常に立ち返りながら、取組を進めて参ります。子どもとの「つながり方」「関わり方」を振り返り考え直しながら、多様な選択肢があって自己決定できる場を増やし、自己に対する自信を高めていきたいと思ひます。

- ・ **理念面の問い**：「CSの目指すところ」「取組の意義」「子ども・学校・地域の視点」
- ・ **関係性の問い**：「学校と地域の距離感」「小学校と中学校の違い」「複数校・複数地域での連携」
- ・ **実務面の問い**：「実働の場の必要性」「予算や運営体制」「相談の仕組み」



ご寄付の紹介



三次工業団地に工場を有する丸善製薬株式会社より、三次市内の全児童・生徒を対象に、飲料水の寄贈がありました。9月の授業参観日に保護者の方へお渡しをしましたが、児童一人につき、「しまなみウォーター」と「しまなみウォーター（塩分補給）」の各1本ずつ、計2本いただきました。丸善製薬株式会社さま、ありがとうございました。

毎年、手作りの雑巾をいただいておりますが、今年も、廻神町にお住まいの広信ヨリ子様から、101枚の雑巾をいただきました。学校では、子どもたちが床掃除や机を拭くため、日常的にたくさんの雑巾を使用します。（毎学期始めには、各家庭からも持ってきていただいております。）毎年、学校のためにたくさんの丈夫な雑巾を寄贈していただきありがとうございます。



神杉小学校ホームページをご覧ください！

神杉小学校のホームページでは、学校からの情報をタイムリーに情報発信しています。学校だよりや保健だよりはもちろん、日々の学校での子どもたちの様子を「神杉小 News」でお伝えしています。ぜひ、右側のQRコードを読み取り、ご覧になってみてください。（お気に入りに登録されると、毎日のアクセスが便利です）

